

平成 26 年 5 月 22 日

## 消費者動向調査 No.114 「夏のボーナス使いみち調査」 ～ 特別テーマ「消費税増税後の消費支出について」～

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「夏のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。また特別テーマとして、「消費税増税後の消費支出について」を実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

### I. 「夏のボーナス使いみち調査」

調査時期：平成 26 年 4 月  
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人  
（うち回答者 487 人、回答率 97.4%）

#### 調査結果要約

- ◆ **今年の夏のボーナス支給予想、前年夏と比較して「多くなる」は 28.4%で過去最高。**  
前年夏よりも、ボーナスが「多くなる」は 11.7 ポイント増加し 28.4%で過去最高となった。  
「少なくなる」は 2.9 ポイント減少し 12.7%。  
(調査結果本文 2P)
- ◆ **夏のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 61.6%。2 位は「旅行・レジャー」で 48.3%。**  
夏のボーナス使いみち予定 1 位の「貯蓄」は 61.6%で、前年夏の 62.1%より 0.5 ポイント減少した。2 位の「旅行・レジャー」は 8.7 ポイント増加して 48.3%。  
(調査結果本文 3P)
- ◆ **ボーナスを貯蓄する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 39.0%。  
2 位は「将来の教育費のため」で 38.6%。**  
貯蓄の目的は、将来に対する備えが上位を占めている。  
(調査結果本文 4P)
- ◆ **夏のボーナスを貯蓄する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 58.4%で 1 位。**  
景気回復の兆しが見られるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準。  
(調査結果本文 5P)
- ◆ **関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で 76.8%。2 位は「投資信託」で 30.8%は過去最高。**  
1 位の「預貯金」への関心は 76.8%、2 位の「投資信託」は 30.8%と過去最高となった。  
(調査結果本文 6P)
- ◆ **夏のボーナス、自由に使える金額は、前年夏に比べて夫は 6 千円アップ。妻は 7 千円ダウンで過去最低。**  
ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したが、妻が「自由に使える金額」は減少した。  
(調査結果本文 7P)

以上

調査結果本文は[こちら](#)

## Ⅱ. 特別テーマ「消費税増税後の消費支出について」

調査時期：平成 26 年 4 月  
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人  
(うち回答者 482 人、回答率 96.4%)

### 調査結果要約

- ◆ 消費税増税後に、家庭での消費支出はどうなりましたか：  
『支出を控えている』は 48.8%、『支出を控えていない』は 27.8%、『わからない』は 23.4%。

全体では『支出を控えている』が 48.8%で、『支出を控えていない』の 27.8%を大きく上回った。

(調査結果本文 1P)

- ◆ どのような状況になれば、家庭での消費支出が増加すると思いますか：  
1 位は『毎月の収入の増加』で 73.7%、2 位は『ボーナスの増加』で 53.3%。

全体では 1 位は『毎月の収入の増加』で 73.7%。2 位は『ボーナスの増加』で 53.3%。  
3 位は『景気の回復』で 38.4%。

(調査結果本文 2P)

以 上

調査結果本文は[こちら](#)

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

西日本シティ銀行	広報文化部	長谷川	TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング	調 査 部	原	TEL 092-476-3051

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。